

基準値一覽

目 次

血球数・血液像	1
凝固・線溶	2
リンパ球サブセット	2
生化学	3
脳脊髄液	7
内分泌	7,8
腫瘍マーカー	9
自己抗体	10
感染症	10
尿沈査	11
尿定性	11
血液ガス	12

2001年	9月	1日	初版
2003年	4月	1日	一部改訂
2003年	12月	12日	一部改訂
2004年	4月	1日	一部改訂
2004年	11月	1日	一部改訂
2005年	8月	1日	一部改訂
2005年	12月	1日	一部改訂
2006年	4月	7日	一部改訂
2006年	10月	1日	一部改訂
2007年	3月	1日	一部改訂
2008年	4月	1日	一部改訂
2009年	4月	1日	一部改訂
2010年	1月	15日	一部改訂
2010年	7月	1日	一部改訂
2010年	10月	1日	一部改訂
2014年	2月	21日	一部改訂
2014年	7月	1日	一部改訂
2018年	1月	26日	一部改訂
2018年	3月	14日	一部改訂
2018年	10月	1日	一部改訂
2019年	5月	1日	一部改訂

2020年	8月	1日	一部改訂
2020年	10月	1日	一部改訂
2020年	12月	1日	一部改訂
2021年	12月	1日	一部改訂
2022年	4月	1日	一部改訂

独立行政法人国立病院機構 仙台医療センター 臨床検査科

血球数・血液像

検査項目名	基準値	単位	基準値設定の根拠
白血球数	3.3～8.6	$\times 10^9 / \mu\text{L}$	JCCLS 共用基準範囲
赤血球数	M: 435～555 F: 386～492	$\times 10^4 / \mu\text{L}$	JCCLS 共用基準範囲
ヘモグロビン	M: 13.7～16.8 F: 11.6～14.8	g/dL	JCCLS 共用基準範囲
ヘマトクリット値	M: 40.7～50.1 F: 35.1～44.4	%	JCCLS 共用基準範囲
血小板数	15.8～34.8	$\times 10^4 / \mu\text{L}$	JCCLS 共用基準範囲
平均赤血球容積(MCV)	83.6～98.2	fL	JCCLS 共用基準範囲
平均赤血球血色素量(MCH)	27.5～33.2	pg	JCCLS 共用基準範囲
平均赤血球血色素濃度(MCHC)	31.7～35.3	g/dL	JCCLS 共用基準範囲
赤血球容積分布幅(RDW)	11.0～16.0	%	
平均血小板容積(MPV)	9.0～13.0	fL	
血小板容積分布幅(PDW)	9.0～17.0	%	

血液像(自動分析)

好中球	38.5～80.5	%	JSLH(日本検査血液学会)血球形態標準化WG
リンパ球	16.5～49.5	%	
単球	2.0～10.0	%	
好酸球	0.0～8.5	%	
好塩基球	0.0～2.5	%	
網状赤血球	0.5～2.5	%	

血液像(目視)

桿状核球	0.5～6.5	%	JSLH(日本検査血液学会)血球形態標準化WG
分節核球	38.0～74.0	%	
リンパ球	16.5～49.5	%	
単球	2.0～10.0	%	
好酸球	0.0～8.5	%	
好塩基球	0.0～2.5	%	
血沈 1hr	♂1～10 ♀3～15	mm	臨床検査法提要改訂第31版. 1998

凝固・線溶

検査項目名	基準値(成人)	単位	基準値設定の根拠
トロンボテスト(TT)	70 以上	%	三光純薬の試薬説明書
プロトロンビン時間(PT)	70~130	%	シスメックスの試薬説明書
プロトロンビン時間 INR	0.90~1.10		血液凝固検査ハンドブック.1992 (分析機対応にて小数点2位表示)
活性部分トロンボプラスチン時間(APTT)	24.3~38.9	秒	積水メディカル(株)提供資料 (分析機対応にて小数点1位表示)
フィブリノゲン(Fib)	200~400	mg/dL	臨床検査法提要改訂第33版.2010
出血時間	1~3	分	臨床検査法提要改訂第31版.1998
全血凝固時間	8~12	分	臨床検査法提要改訂第31版.1998
FDP	5 以下	μ g/mL	臨床検査法提要改訂第33版.2010
D ダイマー	1.0 未満	μ g/mL	文献:吉田忠夫他:医学と薬学 54(2) 219-222 2005 より引用
アンチトロンビンⅢ(AT-Ⅲ)	80~130	%	臨床検査法提要改訂第33版.2010
血小板停滞率(血小板粘着能)	15.0~70.0	%	臨床検査法提要改訂第31版.1998 (小数点1位表示)

リンパ球サブセット

T・B細胞百分率			
CD3	55.0~89.0	%	臨床検査法提要改訂第31版.1998
CD19	4.0~23.0	%	臨床検査法提要改訂第31版.1998
T細胞サブセット			
CD4	27.0~60.0	%	臨床検査法提要改訂第31版.1998
CD8	16.0~42.0	%	臨床検査法提要改訂第31版.1998

生化学

(試料名のない項目は血清の検査値を示す)

検査項目名	基準値(成人)	単位	基準値設定の根拠
総タンパク	6.6~8.1	g/dL	ビウレット(Biuret)法 JCCLS 共用基準範囲
アルブミン	4.1~5.1	g/dL	ブロムクレゾールパープル(BCP)法 JCCLS 共用基準範囲
T-Bil	0.4~1.5	mg/dL	酵素法 JCCLS 共用基準範囲
D-Bil	0.2 以下	mg/dL	酵素法 試薬添付文書(LSI メディエンス社)
AST	13~30	U/L	JSCC 標準化対応法 JCCLS 共用基準範囲
ALT	M:10~42 F: 7~23	U/L	JSCC 標準化対応法 JCCLS 共用基準範囲
LDH	124~222	U/L	IFCC 標準化対応法 JCCLS 共用基準範囲
ALP	38~113	U/L	IFCC 標準化対応法 JCCLS 共用基準範囲
γ-GTP	M:13~64 F: 9~32	U/L	JSCC 標準化対応法 JCCLS 共用基準範囲
Ch-E	M: 240~486 F: 201~421	U/L	JSCC 標準化対応法 JCCLS 共用基準範囲
検査項目名	基準値(成人)	単位	基準値設定の根拠
CPK	M: 59~248 F: 41~153	U/L	JSCC 標準化対応法 JCCLS 共用基準範囲
CPK-MB	7~25	U/L	免疫阻害法 試薬添付文書(ロシュ・ダイアグノスティクス社)

CK-MB 蛋白	0.6~3.5	ng/mL	電気化学発光免疫測定法 (ECLIA) 試薬添付文書 (ロシュ・ダイアグノスティクス社)
トロポニン T	0.014 以下	ng/mL	電気化学発光免疫測定法 (ECLIA) 試薬添付文書 (ロシュ・ダイアグノスティクス社)
ミオグロビン	M: 28~72 F: 25~58	ng/mL	電気化学発光免疫測定法 (ECLIA) 試薬添付文書 (ロシュ・ダイアグノスティクス社)
アミラーゼ	44~132	U/L	JSCC 標準化対応法 (GAL-G7-PNP 法) JCCLS 共用基準範囲
尿アミラーゼ	8~550	U/L	JSCC 標準化対応法 (GAL-G7-PNP 法) 金井正光:臨床検査提要第 35 版:2020
リパーゼ	13~25	U/L	合成基質比色法 金井正光:臨床検査提要第 35 版:2020
尿 NAG	0~11.5	IU/L	6-メチル-2-ピリジル-N-アセチル-1-チオ- β-D-グルコサミニド (MPT-NAG) 法ニッポー試薬 説明書
BUN	8~20	mg/dL	ウレアーゼ・GLDH・ICDH 消去法 JCCLS 共用基準範囲
クレアチニン	M:0.65~1.07 F:0.46~0.79	mg/dL	酵素法 JCCLS 共用基準範囲
尿酸	M:4.0~7.0 F:3.0~5.5	mg/dL	高尿酸血症・痛風の治療ガイドライン 2002 自施設追跡調査統計. 2002 金井正光:臨床検査提要第 35 版:2020

検査項目名	基準値(成人)	単位	基準値設定の根拠
血漿アンモニア	12~66	μg/dl	酵素法 日本臨床増刊 683P478:1995
総コレステロール	142~219	mg/dl	COD・POD 法 JCCLS 共用基準範囲 動脈硬化性疾患診療ガイドライン:2007
HDL コレステロール	M: 40~90 F: 40~103	mg/dL	化学修飾酵素法 JCCLS 共用基準範囲 動脈硬化性疾患診療ガイドライン:2017
中性脂肪	30~149	mg/dL	酵素法 金井泉、金井正光:臨床検査提要第 31 版:1998 動脈硬化性疾患診療ガイドライン:2017

LDL コレステロール	65～139	mg/dL	直接法 JCCLS 共用基準範囲 動脈硬化性疾患診療ガイドライン:2017
Na	138～145	mEq/L	イオン選択電極希釈法 JCCLS 共用基準範囲
K	3.6～4.8	mEq/L	イオン選択電極希釈法 JCCLS 共用基準範囲
Cl	101～108	mEq/L	イオン選択電極希釈法 JCCLS 共用基準範囲
Ca	8.8～10.1	mg/dL	酵素法 JCCLS 共用基準範囲
P	2.7～4.6	mg/dL	酵素法 JCCLS 共用基準範囲
Mg	1.8～2.4	mg/dL	酵素法 金井正光:臨床検査提要第35版:2020
鉄	40～188	μ g/dL	Nitroso-PSAP 法 (直接比色法) JCCLS 共用基準範囲

検査項目名	基準値(成人)	単位	基準値設定の根拠
血糖	60～110	mg/dL	GOD 電極法 日本糖尿病学会の診断基準より設定
HbA1c	4.6～6.2 (NGSP)	%	高速液体クロマトグラフィー(HPLC)法 島健二ほか;糖尿病,37.855-864.1994
グリコアルブミン(GA)	12.3～16.9	%	文献～糖尿病学会委員会報告より～
蛋白分画			キャピラリー電気泳動法 フィンガルリング社設定
A/G	1.52～2.5		
Albmine	55.8～66.1	%	
α 1-glob.	2.9～4.9	%	
α 2-glob,	7.1～11.8	%	
β 1-glob.	4.7～7.2	%	
β 2-glob.	3.2～6.5	%	
γ -glob.	11.1～18.8	%	
CRP	0～0.3	mg/dL	ラテックス凝集法 試薬添付文書(デンカ株式会社) 自施設追跡調査統計にて確認,2002

IgG	861~1747	mg/dL	免疫比濁法 JCCLS 共用基準範囲
IgA	93~393	mg/dL	免疫比濁法 JCCLS 共用基準範囲
IgM	♂ 33~183 ♀ 50~269	mg/dL	免疫比濁法 JCCLS 共用基準範囲
IgE	232 以下	IU/mL	電気化学発光免疫測定法 試薬添付文書 (ロシュ・ダイアグノスティクス社)
C3	73~138	mg/dL	免疫比濁法 JCCLS 共用基準範囲
C4	11~31	mg/dL	免疫比濁法 JCCLS 共用基準範囲
β 2MG	0.5~2.0	mg/L	ラテックス比濁法 日本臨床 57 巻. 増刊号(1). 236-238:1999
ビタミン B12	197~771	pg/mL	化学発光免疫測定法 試薬添付文書 (ロシュ・ダイアグノスティクス社)
葉酸	3.6~12.9	ng/mL	化学発光免疫測定法 試薬添付文書 (ロシュ・ダイアグノスティクス社)
sIL-2R	204~587	U/mL	ラテックス凝集法 試薬添付文書(積水メディカル社)

検査項目名	基準値(成人)	単位	基準値設定の根拠
プレアルブミン	M:23~42 F:22~34	mg/dl	免疫比濁法 試薬添付文書(ニッターボーメディカル社)
レチノール結合蛋白	M:2.7~6.0 F:1.9~4.6	mg/dl	ラテックス免疫比濁法 試薬添付文書(ニッターボーメディカル社)
トランスフェリン	M:190~300 F:200~340	mg/dL	免疫比濁法 試薬添付文書(ニッターボーメディカル社)
血漿浸透圧	275~290	mOsm/L	金井泉;臨床検査法提要. 改定 32 版. 2005
尿浸透圧	50~1300	mOsm/L	金井泉;臨床検査法提要. 改定 31 版. 1998

脳脊髄液

検査項目名	基準値(成人)	単位	基準値設定の根拠
-------	---------	----	----------

髄液細胞数	0/3～15/3	/ μ L	
髄液比重	1.005～1.007		金井泉;臨床検査法提要.改定32版.2005
髄液蛋白量	10～40	mg/dL	金井泉;臨床検査法提要.改定32版.2005
髄液糖量	50～75	mg/dL	金井泉;臨床検査法提要.改定32版.2005
髄液Cl	120～125	mEq/L	金井泉;臨床検査法提要.改定32版.2005
髄液LD	<25	mU/mL	金井泉;臨床検査法提要.改定32版.2005

ホルモン

項目名	基準値(成人)	単位	基準値設定の根拠
TSH	0.50～5.00	μ IU/mL	化学発光免疫測定法 試薬添付文書(ロシュ・ダイアグノスティクス社)
FT3	2.30～4.30	pg/mL	化学発光免疫測定法 試薬添付文書(ロシュ・ダイアグノスティクス社)
FT4	0.90～1.70	ng/dL	化学発光免疫測定法 試薬添付文書(ロシュ・ダイアグノスティクス社)
NT-BNP	125 (心不全除外値)	pg/mL	電気化学発光免疫測定法 試薬添付文書(ロシュ・ダイアグノスティクス社)

コルチゾール(μ g/dL)化学発光免疫測定法(アボットジャパン合同会社試薬説明書)

	検体採取時間	検体数	基準範囲
血清	午前10時以前	150例	3.7～19.4
血清	午後5時以降	150例	2.9～17.3
尿	24時間蓄尿	128例	4.3～176.0/24時間

LH(mIU/mL)化学発光免疫測定法(アボットジャパン合同会社試薬説明書)

	検体数	基準範囲
男性	199例	0.57～12.07
(月経周期正常女性)		
卵胞期	303	1.8～11.78
中間期ピーク	64	7.59～89.08
黄体期	294	0.56～14
ホルモン補充治療を受けていない閉経後の女性	124	5.16～61.99

FSH(mIU/mL)化学発光免疫測定法(アボットジャパン合同会社試薬説明書)

	検体数	基準範囲
男性	54例	1.37～13.58
(月経周期正常女性)		
卵胞期	136例	3.35～21.63

中間期ピーク	24 例	4.97～20.82
黄体期	87 例	1.11～13.99
閉経後の女性	41 例	2.58～150.53

PRL (n g /mL) 化学発光免疫測定法 (アボットジャパン合同会社試薬説明書)

	検体数	基準範囲
卵胞期	27 例	4～26.8
排卵期	21 例	6.0～40.9
黄体期	17 例	1.2～33.6
有経女性	65 例	3.5～32.7
閉経女性	57 例	0.6～18.5
男性	72 例	3.5～19.4

E2 (p g /mL) 化学発光免疫測定法 (アボットジャパン合同会社試薬説明書)

	検体数	95%範囲
男性	101 例	11～44
(月経周期正常女性)		
卵胞期	385 例	21～251
中間期	105 例	38～649
黄体期	466 例	21～312
(閉経後の女性)		
ホルモン補充療法なし	50 例	<10～28
ホルモン補充療法中	22 例	<10～144

腫瘍マーカー

検査項目名	基準値(成人)	単位	基準値設定の根拠
CEA	3, 4 以下	ng/mL	電気化学発光免疫測定法 試薬添付文書 (ロシュ・ダイアグノスティクス社)
AFP	6, 2 以下	ng/mL	電気化学発光免疫測定法 試薬添付文書 (ロシュ・ダイアグノスティクス社)
CA19-9	37. 0 以下	U/mL	電気化学発光免疫測定法 試薬添付文書 (ロシュ・ダイアグノスティクス社)
CA125	35. 0 以下	U/mL	電気化学発光免疫測定法 試薬添付文書 (ロシュ・ダイアグノスティクス社)
CA15-3	25, 0 以下	U/mL	電気化学発光免疫測定法 試薬添付文書 (ロシュ・ダイアグノスティクス社)
PSA	4. 000 以下	ng/mL	化学発光免疫測定法 試薬添付文書 (アボットジャパン合同会社)
フェリチン	M:39. 9~465. 0 F:6. 2~138. 0	ng/mL	電気化学発光免疫測定法 試薬添付文書 (ロシュ・ダイアグノスティクス社)
NSE	15. 2 以下	ng/mL	電気化学発光免疫測定 試薬添付文書 (ロシュ・ダイアグノスティクス社)
シフラ	2. 8 以下	ng/mL	電気化学発光免疫測定法 試薬添付文書 (ロシュ・ダイアグノスティクス社)
SCC 抗原	1. 5 以下	ng/mL	化学発光免疫測定法 試薬添付文書 (アボットジャパン合同会社)

自己抗体

検査項目名	基準値(成人)	単位	基準値設定の根拠
RHF	0～20	IU/mL	ラテックス免疫比濁法 試薬添付文書(LSI メディエンス社)
CH50	30～50	U/mL	リボソーム免疫測定法 試薬添付文書(富士フイルム和光純薬)
寒冷凝集反応	16 以下	倍	金井 泉；臨床検査提要. 改定 31 版. 1998

感染症

検査項目名	基準値	単位	基準値設定の根拠
ASO	160 以下	IU/mL	ラテックス凝集法 試薬添付文書(デンカ株式会社)
HBs 抗原	0.05 未満を陰性	IU/ml	化学発光免疫測定法 試薬添付文書 (アボットジャパン合同会社)
HBs 抗体	10.0 未満を陰性	mIU/ml	化学発光免疫測定法 試薬添付文書 (アボットジャパン合同会社)
RPR	1.0 未満を陰性	R. U.	ラテックス比濁法 試薬添付文書 (極東製薬工業株式会社)
TPHA (TPLA)	20 未満を陰性	T. U.	ラテックス比濁法 試薬添付文書 (極東製薬工業株式会社)
HIV 定性検査	1.0 未満を陰性	S/CO	化学発光免疫測定法 試薬添付文書 (アボットジャパン合同会社)
HTLV-1 抗体	陰性		試薬添付文書(富士レビオ社)

尿検査(沈渣)

検査項目名	基準値	基準値設定の根拠
赤血球	4 個以下/HPF	日本臨床検査標準議会(JCCLS) 尿沈渣検査法 GP1-P4 尿沈渣検査法 2010
白血球	4 個以下/HPF	日本臨床検査標準協議会(JCCLS) 尿沈渣検査法 GP1-P4 尿沈渣検査法 2010
円柱	(-) 硝子円柱は正常でも 出現する場合がある	日本臨床検査標準協議会(JCCLS) 尿沈渣検査法 GP1-P4 尿沈渣検査法 2010

尿検査(定性)

検査項目名	基準値	基準値設定の根拠
比重	1.005~1.030	月刊 MedicalTechnology 新・カラーアトラス尿検査 医歯薬出版 2004 年
PH	5.0~7.5	月刊 MedicalTechnology 新・カラーアトラス尿検査 医歯薬出版 2004 年
蛋白	(-)	月刊 MedicalTechnology 新・カラーアトラス尿検査 医歯薬出版 2004 年
糖	(-)	月刊 MedicalTechnology 新・カラーアトラス尿検査 医歯薬出版 2004 年
ケトン体	(-)	月刊 MedicalTechnology 新・カラーアトラス尿検査 医歯薬出版 2004 年
潜血	(-)	月刊 MedicalTechnology 新・カラーアトラス尿検査 医歯薬出版 2004 年
ウロビリノーゲン	(+-)	月刊 MedicalTechnology 新・カラーアトラス尿検査 医歯薬出版 2004 年
ビリルビン	(-)	月刊 MedicalTechnology 新・カラーアトラス尿検査 医歯薬出版 2004 年
亜硝酸塩	(-)	月刊 MedicalTechnoiogy 新・カラーアトラス尿検査 医歯薬出版 2004 年
白血球	(-)	月刊 MedicalTechnology 新・カラーアトラス尿検査 医歯薬出版 2004 年

血液ガス

検査項目名	基準値(成人)	単位	基準値設定の根拠
PH	7.35～7.45		機器添付文書(ラジオ・メーター社)
PCO2	32～48	mmHg	機器添付文書(ラジオ・メーター社)
PO2	83～108	mmHg	機器添付文書(ラジオ・メーター社)
HCO3-	21～28	mmol/L	機器添付文書(ラジオ・メーター社)
ctCO2	21～27	mmol/L	機器添付文書(ラジオ・メーター社)
ABE	-2～3	mmol/L	機器添付文書(ラジオ・メーター社)
SBE	-3～3	mmol/L	機器添付文書(ラジオ・メーター社)
SBC	21.8～26.9	mmol/L	機器添付文書(ラジオ・メーター社)
sO2	95～99.0	%	機器添付文書(ラジオ・メーター社)